

校種・教科等

高等学校  
書道

受審番号

氏名

## 『芸術科書道』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 書道教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(20名)

使用教科書「書 I」(教育図書)P. 80~P. 88

別添「書 I プライマリーブック」P. 42~45

(4) 単 元 名 漢字仮名交じりの書 創作の基礎 I

(5) 指導する児童(生徒)の状況

## 【既習事項】

1・2学期を通して、漢字の書(楷書・行書の臨書、創作)、仮名の書(臨書)について学んでいる。

## 【単元のねらい】

これまでに学習した漢字や仮名の技法や知識を生かして、自己の思いや意図に基づいた漢字仮名交じりの書の表現を工夫する。

## 【児童(生徒)の状況】

大半の生徒は、真面目で意欲的に取り組むことができ、自分の意見を積極的に発表できる生徒が多い。しかし、漢字の書の創作では、自己の意図に基づいた表現についての工夫に差が見られる。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	○漢字仮名交じりの書の基本を理解する ○言葉の選定をする P80~	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第2次 (2時間)	○古典に表現を学ぶ ○漢字と仮名の調和した表現を学ぶ	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第3次 (2時間)	○紙面構成を学ぶ	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第4次 (2時間)	○作品の完成 ○鑑賞会	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度

※教科独自に面接審査室に準備しているもの・・・水書板・筆(水書用)・水入れ

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

06	校種・教科等	高等学校 書道	受審番号	氏名	B
----	--------	------------	------	----	---

『芸術科書道』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)  
 (2) 場 所 書道教室  
 (3) 学年・学級 第1学年1組(20名) 使用教科書「書Ⅰ」(教育図書)P. 80~P. 88  
別添「書Ⅰプライマリーブック」P. 42~45

(4) 単 元 名 漢字仮名交じりの書 創作の基礎Ⅰ

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

1・2学期を通して、漢字の書(楷書・行書の臨書、創作)、仮名の書(臨書)について学んでいる。

【単元のねらい】

これまでに学習した漢字や仮名の技法や知識を生かして、自己の思いや意図に基づいた漢字仮名交じりの書の表現を工夫する。

【児童(生徒)の状況】

大半の生徒は、真面目で意欲的に取り組むことができ、自分の意見を積極的に発表できる生徒が多い。しかし、漢字の書の創作では、自己の意図に基づいた表現についての工夫に差が見られる。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	○漢字仮名交じりの書の基本を理解する ○言葉の選定をする	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第2次 (2時間)	○古典に表現を学ぶ ○漢字と仮名の調和した表現を学ぶ	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第3次 (2時間) 本時は2時間 中の1時間目と する	○紙面構成を学ぶ P84~	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度
第4次 (2時間)	○作品の完成 ○鑑賞会	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度

※教科独自に面接審査室に準備しているもの・・・水書板・筆(水書用)・水入れ・書画カメラ・スクリーン

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。